

【本文と資料を関連付けて読み取る力】

問い一 【ア】【イ】【ウ】に当てはまる資料番号をそれぞれ書きましょう。

(ア)	2	(イ)	3	(ウ)	1
-----	---	-----	---	-----	---

①

正答 ※右の通り。(完全解答のみ)

誤答 ※正答以外の内容を書いている。

無答 ※何も書いていない。

問い二 A案とB案の問題点を文中から探して、それぞれ書きましょう。

A案の問題点

・ (放送や集会があったすぐ後は正しく歩行しようとするけれど、しばらくたてばまたわすれてしまう。)

②

B案の問題点

・ (委員がろうう下に立つと、委員の休み時間がなくなってしまう。)

③

正答 ※右の解答例と、ほぼ同様の内容を書いている。

誤答 ※正答以外の内容を書いている。

無答 ※何も書いていない。

問い三

「話し合いの様子」の問題点と解決策に入る組み合わせとして合うものを①～⑤から選び、
□に番号を書きましょう。

④

④

正答 ※右の通り。

誤答 ※正答以外の内容を書いている。

無答 ※何も書いていない。

問い四 あなたなら、どちらの案に賛成しますか。賛成する案の意見文を原稿用紙に書きましょつ。

【制限時間内に指定された文字数で記述する力】

指定された文字数で意見文を書いている。

⑤

正答 ※三四〇字以上、四〇〇字以内で書いている。

誤答 ※三四〇字未満、または、四〇〇字を越えて書いている。

無答 ※何も書いていない。

【注意】 三四〇字を満たしていない場合、⑥以降の問題は、正しく答えていても「無答」とすること。
四〇〇字を越えて「誤答」の場合は、⑥以降採点の対象とする。

【段落を構成する力】

「始め・中・終わり」の三部構成で、四段落で書いている。

⑥

正答 ※「意見の表明」「理由」「意見の表明の繰り返し、または結びに当たる記述」といった三部構成で、四段落で書かれていれば可とする。

誤答 ※「始め」「中」「終わり」の三部構成を意識した段落を作っていない場合。四段落で書かれていない場合。一字下げがされていない場合。意味のまとまりを考えずに改行している場合。

無答 ※段落が全くない。

【自分の立場を明確にして記述する力】

第一段落に、自分が支持する案を示している。

⑦

正答 ※第一段落に「わたしは、A（B）案に賛成です。」といった記述がある。

誤答 ※立場を明確にした記述があるが、第一段落にない。

無答 ※立場を明確にした記述がない。

【理由を明確にして記述する力】

意見の根拠となる理由を一つ書いている。

⑧

正答 ※自分の賛成する案と整合する賛成理由を一つ記述している。

誤答 ※理由の記述があっても自分が賛成する案と整合していない。または、自分が賛成した案とは異なる案の反対理由となっていたり、理由が不十分であったりする。

〔誤答例〕 わたしはB案に賛成です。理由は、A案では「自分に関係ない」と考える人がいるからです。わたしはA案に賛成です。A案にすれば正しいという下歩行ができるからです。

無答 理由の記述がない。

【理由に説得力をもたせて記述する力】

理由に、自分自身の体験や予想などを加えて詳しく説明している。

⑨

【正答】 ※記述した理由に、それに整合した自分の体験や予想を加えて説明している。

【誤答】 ※自分の体験や予想を加えて説明しているが、理由と整合していない。

【無答】 ※理由に、自分の体験や予想などを加えて説明していない。

【とらえた問題点について、自分の考えを記述する力】

賛成した案の問題点をとらえ、それに対する自分の考え（解決策も含む）を書き加えている。

⑩

【正答】 ※賛成した案の問題点をとらえて、それに対する自分の考え（解決策も含む）を書き加えている。

問題点に対する自分の意見（解決策）が、ほぼ整合した内容であれば可。

【誤答】 ※問題点をとらえているが、それに対する自分の意見と整合していない。または、問題点をとらえているが、それに対する自分の意見が書かれていない。

【無答】 ※問題点やそれに対する自分の考えの記述がない。

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
- ① わたしは、A案の昼の放送や全校集会でろう下・階段ん歩行についてよびかけることに賛成です。
- ② 理由は、全校がいつせいに守ろうと考えることが大切だと思うからです。どんな場所で、どんな場面で事故が起きるのかわれば注意しようと思えます。また、わたしの経験では、だめだと分かっても「みんなが走っているから」という理由で走ってしまったこともあり、その場での注意だけではふだんから直そうと思いません。
- ③ たしかに、A案にはしばらくたつとわすれしてしまうという問題点があります。でも、定期的に放送をしたり、放送の内容を工夫したりすることで強くインパクトを与えたりすることもできます。全校みんなでよくしようという気持ちも高まると思います。
- ④ このような理由から、A案にすると、みんなの力でろう下・階段ん歩行をよくしようとする学校になると思います。

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
- ① わたしは、B案の休み時間に委員会がろう下や階段んに立ち、走っている人に注意することに賛成です。
- ② 理由は、直せつ自分がよびかけられたら、「自分には関係ない」と考えず、正しいろう下歩行に直そうとする人が多いのではないかと考えるからです。実際にアンケート結果3にも「人が見ていなければ注意されない」という回答があり、これはぎやくに「実際に声がけをされれば効果がある」ということにつながると思えます。
- ③ たしかに、B案には特定の委員ばかりが毎日ろう下に立つと休み時間がなくなるという問題点がありますが、交代で立てば解決できると思えます。また、注意する側になることで考え方も変わるのではないかと思えます。
- ④ このような理由から、B案にすると、スローガンのように、自分のこととして考え、みんなの力でろう下・階段ん歩行をよくしようとする学校になると思います。